

季刊 ジャネット Ja-Net

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

No. 53

2010年4月25日発行

- ◆ View from the Other Side3
- ◆ あちこち日本語ご紹介
(長野県飯田市)4
- ◆ あちこち日本語ご紹介
(ブラジル連邦共和国)5
- ◆ 教材紹介6
『Let's Work It Out! Office Japanese For Beginners』
『日本語誤用辞典』
『いっぽにほんごさんぽ』
- ◆ なんでも情報BOX 8

スリーイーネットワーク

巻頭寄稿

授業とテスト

東京外国語大学
留学生日本語教育センター教授 伊東祐郎



テストで言語能力は測れるか

私の友人が数年前に『テストで言語能力は測れるか』*というタイトルの本を出版した。このタイトルは私にとって衝撃的だった。というのは、テスト作成が日頃の中核的な仕事になっている私にとって、根本的な課題を突きつけられたような気がしたからである。このタイトルから私は自らに、日頃作成しているテストが学習者の日本語力を理想的な形で測定しているかどうかを問い直すきっかけとなったのである。

多くの日本語教師が作成するテストは、カリキュラムに基づいた到達度テストであろう。一般的には、授業で教授した文法項目や新たに導入した語彙、音声などが出題内容になる。また、作文力やスピーキング力などの運用力が学習目標になっている場合には、実際に書かせたり話させたりするパフォーマンス・テストを実施することになる。出題内容や出題形式などの検討においては、カリキュラムやシラバスなどと照合させながら、テスト形式を決めていくことになる。しかしながら、ややもすると、われわれは、既存のテスト形式ののっとなって、何の疑いもなく問題作りを行ってきているように思われる。自分たちの作成するテストがどのような知識や能力を測定しているのか、ある知識や能力を測定するにはどのようなテスト課題と形式が適切であるのかを意識して記述化することは、テスト作成者にとって今求められていることのように思われる。

言語能力とテスト作成の実際

日本語教育における教授内容は、言語学習の際に当然求められる言語的要素（「文法」「文字」「語彙」と実際の言語技能（「聞く」「読む」「話す」「書く」）の双方からの視点でまとめられている。特に、初級段階では、構造言語学を基盤とすることが多く、言語形式を重視している。初級教科書の構成は、基礎的な文型と文法項目、

語彙から配列され積み上げ式という特徴をもつ。中級以降も既習の文型や語彙に基づいていて、コミュニケーション場面の取り上げ方は二次的である。運用力に焦点を当てた達成目標が可視化されていないので、結果的に日本語の構造を中心とした教育を実践する傾向になりやすいと言ってよい。

言語能力レベルについて議論するときには、「初級」「中級」「上級」そして時に「超級」というレベル区分を示す用語を使用することが多い。日本語教育に従事している者にとって、各段階における能力のイメージは経験知として理解されている。その場合のイメージとは、文型であったり、語彙や文構造の難易度によるものであることが多い。また、運用力をイメージできたとしても一般的に抽象度の高いものであろう。日本語能力試験の認定基準を例にとるならば、4級では、「簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできる能力」、1級では、「社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力」などの記述である。学習者を含めて、第三者にとっては、決して具体的でわかりやすいものとなっていない。能力レベルは、どちらかといえば教授者が構造を中心とした文型や文法、語彙レベルで理解されているものと言えよう。また、語彙数、漢字数、学習時間数という、言語能力とは直接関係しない「学習量」が能力区分の一項目に加わっていることも特徴的である。

言語能力記述文とは

言語能力と言えば、CanaleとSwain（1980）が提唱した、コミュニケーション能力モデルがよく知られている。このモデルでは、

- ① 文法的能力 (Grammatical competence) : 目標言語の語彙、文型、構文、形態、統語をはじめ、音韻などを理解して、文を構成できる能力。
- ② 社会言語学的能力 (Sociolinguistic competence) : 目標言語が

使用される社会的文脈や状況を理解して、適切に言語を運用できる能力。また、言語の社会的機能を活かして円滑なコミュニケーションを行える能力。

- ③ 談話能力 (Discourse competence) : 意味があり、結束性のある発話や文章を構成したり、理解したりする能力。意味と言語形式を結びつけ、発話や文章を機能的に伝達できる能力。
- ④ 方略的能力 (Strategic competence) : 上記3つの能力不足を補うための能力で、言い換え、回避、転移、繰り返しなど。コミュニケーションを維持したり、補正したりするための対処できる言語的・非言語的能力の4つを構成要素とした。

しかしながら、そのほとんどが言語を内的現象とみなす概念的な枠組みや心理学的な記述を中心に提唱されてきたものであって、決して言語が使用される場面や状況、また社会文化的な要因と関連づけられているわけではない。教育の現場における教授や評価への具体的な指針になるまでに至っていなかったことが指摘できる。言語能力の構成概念が観察可能なものとして定義されていないのである。

実際にコミュニケーションのための言語教育をどのように推進すべきかを検討する上で大きな役割を果たしたのが、Wilkins (1976) によって提唱された、概念・機能シラバス (notional-functional syllabus) であった。これは、1970年初頭に欧州評議会 (Council of Europe) がコミュニケーション能力を育成するための教授法の開発を目指して新たに提案したものである。成人学習者が表現する意味と実際の言語の機能をまとめて配列した項目一覧 (シラバス) である。コミュニケーション能力を育成するために、実際の言語運用場面や状況を把握した上で、指導項目の基準を作成し、学習者のニーズに応じて、指導項目を選定できるように試みたものである。コミュニケーションを実現するために必要な意味を概念 (notion) と機能 (function) とに分類したことが特徴的である。このような貢献は、現在注目されている「ヨーロッパ共通参照枠 “Common European Framework of References for Language: Learning, teaching, assessment”」**の言語学習者の熟達度を大まかに6レベルに分類して明示した言語能力記述文 (“Can Do Statements”) に見られる。

これからのテスト作成

テスト作成において、テストの妥当性を高めるための努力は必須である。そのために、作題者は、測定しようとする日本語能力がどのような要素から構成されているか把握しておく必要がある。また、テストの目的とテスト項目に整合性を持たせるためには、テストの細目表 (Specifications) ***、すなわち企画書や設計図にあたるものを事前に作成することが重要である。細目表とは、テストの目的、構成、出題形式、測定対象となる言語能力などを詳細に記述するもので、テストの妥当性はこの細目表を検証すれば確認できると言われている。留意すべき点は、作題者がこの細目表にテストを構成する出題内容や形式、それによって測定しようとする言語能力の領域を記述することによって、これから測定しようとする能力を具体化できイメージ化できることである。あわせて、テストの目的と方法

を特定する点においても意義のあることである。

一方、大規模試験では、テスト結果から得られる得点を具体的な能力の解釈として活用できるよう、得点に対する意義付けをこれまで以上に重要視するようになってきている。そこで、得点に対して能力基準を設け、それに対する“Can Do Statements”が記されるようになってきた。一般社会のテストユーザーである受験者や結果の使用など者に提供されるようになってきているのである。

日本語教育において言語能力の評価を行うことは必然的なことであり、言語能力の発達段階を明確に記述することは妥当性の高いテストを開発する点において有益なものとなるだろう。さらに教育目標で掲げた運用力を獲得するためのカリキュラム、教材、教授法の決定に有益な情報を与えることになるだろう。言語テストは、言語教育と言語習得と密接な関係にある。言語テストが学習と教育の効果についての情報を得るうえで必要不可欠なものである以上、日本語教師も実際の学習者の成果 (Outcomes) を積極的に具現化して、テストを作成することが求められている。

- * 中村洋一: 『テストで言語能力は測れるか』 桐原書店、2002
- ** Council of Europe: *Common European Framework of Reference for Languages; Learning, teaching, assessment*, Cambridge University Press, 2001 (吉島茂、他訳: 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』 朝日出版社、2004
- *** 伊東祐郎: 『日本語教師のためのテスト作成マニュアル』 アルク、2008

伊東 祐郎 (いとう・すけろう)

東京外国語大学留学生日本語教育センター教授。応用言語学 (言語テスト研究)、日本語教育学。

『日本語教師の成長と自己研修』 (共著) 凡人社、放送大学テレビ教材『日本語基礎A』放送大学教育振興会 (共編著)、『日本語中級からのスキルシラバス ワークブック』 (共著) 凡人社。

『言語テスト概論 (Language Testing)』監訳のほか、『やってみよう「参加型学習」! 日本語教室のための4つの手法~理念と実践~』第1部3章、『講座日本語教育学 第4巻』 (共著) 第1章1節「日本語教師の資質と自己成長」を執筆 (いずれも小社刊)。

『言語テスト概論 (Language Testing)』



ティム・マクナマラ 著
伊東祐郎、三枝令子、島田めぐみ、野口裕之 監訳
定価1,890円 (本体1,800円)
A5判172頁 [ISBN978-4-88319-312-7]

シリーズ『講座・日本語教育学』全6巻 縫部義憲 監修 各巻定価2,625円 (本体2,500円)

- 第1巻 文化の理解と言語の教育
- 第2巻 言語行動と社会・文化
- 第3巻 言語学習の心理
- 第4巻 言語学習の支援
- 第5巻 多文化間の教育と近接領域
- 第6巻 言語の体系と構造



学習者の目

このコラムでは、
学習者の視点での話題を
お届けします

View from the Other Side

ゼロから日本語のマスターまで、1年半

ライアン・スン (タイ)



同井

——日本へ留学しようと思ったきっかけは？

“知識に投資することが最も賢い投資”という言葉聞いたことがあります。私はタイの高校を卒業し、タイ政府の奨学金を得て、日本へ留学しました。それは5年半程前の話です。そして今年、明治大学理工学部応用化学科を卒業しました。

高校時代、私の周囲の日本人と取引している人たちは皆お金持ちでした。私もお金持ちになりたいと、将来日本人との貿易会社を作りたいと思いました。でも、家計に余裕がなかったため、日本語学校に通うことができませんでした。その時考えた計画は、タイの良い大学に通いながらアルバイトをして、3年たったら、日本へ留学しようということでした。

高校を卒業するまえ、私は国立2位と言われる大学、タマサート大学の経営学部合格しました。有言の一步目を実行したと思いました。

——せっかく合格したのにタマサート大学を辞退したそうですね。

大学の入学式の前に、タイ政府の奨学金合格者発表があり、日本留学奨学金を手に入れたので、タマサート大学では一日も勉強せず入学を辞退しました。奨学金の合格発表から、私はすぐに日本へ留学することを決意しましたが、母はいろいろと心配していました。毎日「本当に行くの、きっと寂しくなると思うよ、大丈夫なの」と泣いていました。

——来日してどうでした？

日本に来たときは、全然と言ってもいいほど、日本語ができませんでした。新宿あたりで道に迷っても誰にも聞けなくて、泣きたくなったこともあります。そしてタイで独学で勉強してきたのに、全然日本語がわからなかった理由を考えてみました。それは発音の問

題でした。カセットテープからは日本語の音声を聞けませんが、どのように唇や口の中の器官を動かせば良いかわかりませんでした。せっかく覚えた日本語が全部パーになった気分でした。

奨学金の条件は、日本語学校を出てから1年半以内に大学に入ることでした。理工学部を目指す私は、日本語と理系の科目を1年半で勉強する必要がありました。

——どんな勉強をしたんですか？

東京の板橋にあるJET日本語学校で日本語の勉強をしました。最初の1年は月曜日から金曜日まで毎日日本語だけを4時間勉強しました。最後の半年は日本語に加えて午後3時間、理系の科目を勉強しました。そして、明治大学理工学部応用化学科に合格しました。

大学でも、問題がありました。勉強する内容が化学なので、専門用語がたくさんあり、教科書を読むのに時間がかかりすぎたんです。1年生の時は教科書1ページを読むのに30分くらいかかりました。これはまずい、卒業できないかもしれないと思い、はやく読めるようになる方法を考えました。

その方法とは、同じ文章を何回も読むことでした。A4サイズ1ページくらいの記事をさがしてきて、全部の漢字の読み方、単語の意味を調べて、文をタイ語に訳しました。そして、その日本語の文章を30回くらい読み、時間を計って、記録しました。こうして、読む時間も30分から、2分くらいまでに縮めました。このやり方で、教科書を読む時間が、30分から5～6分になりました。教科書を読むようになったら、勉強も楽になりました。

——卒業後は？

大学1年生の時から、アルバイトで、日本人にタイ語を教えていました。日本人にタイとタイ語を知ってもらうためにタイ語発音DVDもつくりました。卒業後はタイに帰って、日本語学校を設立する計画を立てています。社会貢献のために、無料日本語教室も設けるつもりです。

日本に来て、日本語の他に、ビデオ編集、ウェブサイト作成までできるようになりました。全体を見て、一言で言いますとこの5年間で私はずごく成長しました。

ライアン・スン

1985年タイ・ナコンパトム生まれ。2004年来日。

日本語学校で日本語の勉強をした後、2006年に明治大学理工学部入学。日本ではタイ語学校でタイ語講師なども務めた。日本に留学している間、タイ企業の商品展示会などで通訳の経験もある。在学中に『1時間でできるタイ語会話の発音』を制作。

ホームページ：<http://ryansun.web.officelive.com>

あちこち Japanese 日本語

ご紹介 国内編

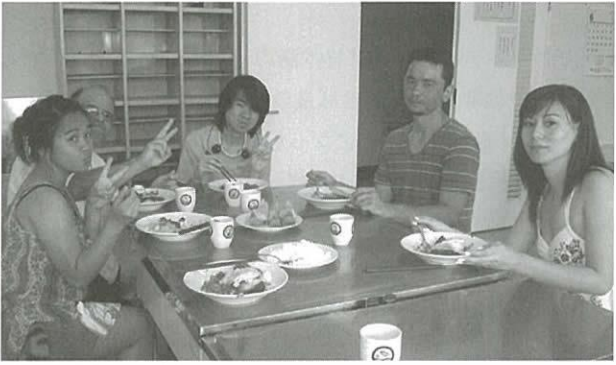


長野県
飯田市

ある日の“わいわいサロン”

飯田市公民館 社会教育指導員 大澤志那子

研修室で日本語学習



ブラジル料理の試食会

ある日タイ出身の学習者Nさんが、大きなレジ袋にいっぱいの生の小松菜を持って教室に現れました。「すごいね～！Nさんが作ったの??」の問いに、「ううん、ワタシじゃない。本家で。」春先に小松菜の畑をきゅうりの畑にするため、一斉に刈り取ったものをみんなにとってきてくれたのでした。「煮ても炒めても何にでもすぐに使えておいしいよね。」と日本人ボランティア。するとすかさず「キムチにしてもとってもおいしいですよ!」と韓国出身のPさん。「私はなんでも食べちゃうから、たくさんもらっていきます!」とフィリピンから来たKさんは、自分の袋にたくさん詰めていました。いつも教室まで車で送り迎えをしてくれるお隣のおばちゃんのもと、タイ出身のTさんは二袋。しばらく小松菜談義に花が咲き、みなさんお土産を持って教室を後にしました。

“わいわいサロン”の活動

毎週木曜日の午前中、この“わいわいサロン”が飯田市公民館で開かれています。日本語を90分くらい勉強したあと全員でお茶を飲んでおしゃべりするという通年の教室活動で、10年以上続いています。これまで様々な地域出身者が訪れ、支援者もいろんな方が入れ替わり活動をしてきました。現在は日本語ボランティアが4人と、学習者は1回5人～10人くらいの活動です。学習者は、日本人の配偶者が多く、支援者はお仕事を定年で退職された方や主婦の方が活動しています。支援者は日本人だけでな



く、長年地元暮らししている外国出身の方々もいて、同胞を教室に連れてきてくれたり、コミュニティに教室を紹介してくれたりします。大切な存在です。

“わいわいサロン”では、その日の参加者の人数やレベルで、いくつかのグループに分かれて勉強します。授業後は、全員一緒にお茶を飲みながら、新しい人がいれば自己紹介をしたり、同胞と母語で語り合ったり、生活情報を交換したりします。1年に何回かは、料理やお花見や忘年会などの行事をすることもあります。現在研修旅行も企画中です。

不況の影響で…

2009年の春から夏にかけては世界的不況の影響で、教室にも失業した外国人、特に日系ブラジル人が多く訪れました。通常の2倍以上の学習者数でした。毎週訪れる新しい学習者に対応しながら、外国人が日本で就労するための日本語の重要性を再認識しました。これはもちろん当事者にとってはより深刻で、仕事をしながら空いた時間に日本語の勉強をしたいという声も多く聞いています。そんなニーズに応えていける教室活動も、これから考えていかねばならないでしょう。

日本語教室の役割は

“わいわいサロン”の役割は何かと考えたとき、単に日本語学習と交流だけではない気がします。教室に来るたびに、日本へ来てからのつらい思い出を涙ながらに語って帰る女性、同国出身の友人に会うために来る人、通知が何なのかを知りたくて持ってくる人、そして今年度は履歴書を書きたいという人もいました。学習者が求める習得したい日本語も日常会話だけではなくなっていますし、日本語学習以外の部分もこのように多くを担っているようです。

昨年のクリスマスはちょうど木曜日でした。年内最後でもあるからと、皆で料理を持ち寄り、小さなケーキも買って、ささやかなパーティーをしました。そのときフィリピン出身で滞日15年になるKさんが、「日本に来てこんなことをしたのは今日が初めてです。」と言いました。驚きました。Kさんは日本語がとても流暢で、漢字の読み書きもたくさんできます。自分で介護施設の仕事をみつけて働いてもいます。そんなKさんでさえ、日本の社会に溶け込むことは容易ではないのだと気づきました。地域の日本語教室が、唯一の日本社会との接点になっている場合も少なくないということでしょうか。

あちこち

日本語

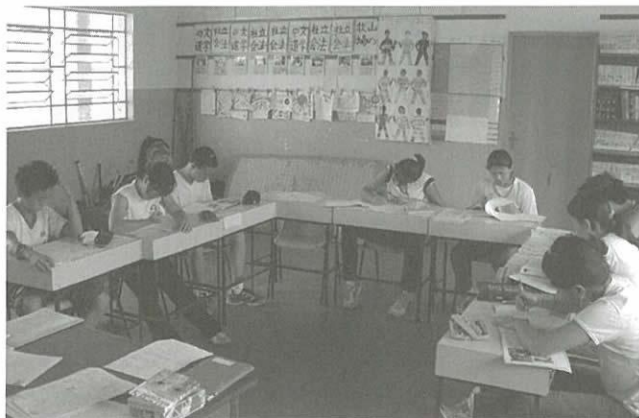
ご紹介 海外編



ブラジル連邦共和国
ピラール・ド・スール市
心をひとつに
笑顔でいられる学校

ピラール・ド・スール日本語学校 渡辺久洋

現在ブラジルには400近い日本語教育機関があるのですが、学習者が3世、4世の時代になり、また時代が変わり日本語教育を取り囲む環境が大きく変化した結果、私塾や大学・公立教育機関が増えてきています。一方、当初から続く日本人会



運営の日本語学校は生徒減少・閉校と衰退してきており、授業方法もかつての国語教育（日本人育成教育）とは違い、他国の日本語教育機関と同じように、外国語としての教授法をベースにしており、ほとんどの学校は週1日～3日の授業を行っています。

そんな中、ピラール・ド・スール日本語学校は現在でも授業時間は1日2時間、週5日で行っています。「試験のため」「知識詰め込み」の授業を避けるべく時間割を作っており、「読み物」という授業では国語教科書の題材を使っていますが、これは内容理解と同時に豊かな日本語の表現や語彙に触れることができ、音読にも適しています。「漢字」の授業では日本の小学校同様各学年の配当漢字を勉強し、「文法」の授業で日本語教育における一般的な文法指導を行っています。「その他」という授業では作文や硬筆、ゲームなど様々な活動を行っています。



2009年度そつえん卒業式での記念写真

また、この週5日制というのは非常に大きな意味があり、生徒にとって日本語学校は「習い事」ではなく「学校」なのです。物心ついた時から毎日ブラジル学校（幼稚園）の後は日本語学校に来るという生活を続けてきているので、子供にとってはそれが日常であり普通の生活として過ごしていて、日本語学校に勉強をしに行くという感覚はあまりないと思います。ですので、初めは全く日本語がわからない子供も数年したらかなり日本語を理解するようになります。現在は4～17才の生徒が67人通っており、多くの生徒は卒業するまでの在学期間は10年を超えます。16年という驚くべき生徒もいました。

他の当校の特徴としては、体育の授業が週2時間、パソコンの授業が週1時間あり、金曜日は習字や工作や絵や音楽など様々な文化活動を行っています。また希望生徒・卒業生（約35人）が参加する「陸上部」と「ソーラン部」があります。授業時間は午前8～10時と午後1時45分～4時なのですが、陸上部の活動がある火曜・金曜日の帰宅時間は午後6時半や7時になります。

また母の日の発表会や敬老会の発表会、作文大会にお話大会、林間学校、スポーツ教室など土日に行う学校行事や地区行事が非常に多く、その準備など教師は大変なのですが、子供達が色々な経験をし、他の町の学校の生徒と交流をして世界を広げ、楽しい思い出をたくさん作るのはとても大切



上級クラスの授業風景と芸能祭で披露された「ソーラン部」によるよさこいソーラン

なことです。それは子供の可能性を広げることもでもあります。教室で勉強しなくともこれら全ての活動が自然な日本語学習の場にもなっており、その成果は著しく、実際数年前から日本語能力試験2級合格者が続いており、一昨年から1級合格者も数名出ています。

このように、当校は日本語学校ではありませんが、「日本語教育」以上に「人間育成」が重要と考え、子供が日系だろうと非日系だろうと関係なく、「日本語を通した人間育成」という確固とした教育理念を持っており、「日本の小学校」をひとつの理想として活動しています。これには保護者や日本人会の理解・協力が不可欠なのは言うまでもありません。

子供達にとって、いつも楽しい仲間がたくさん出会え、いっぱい思い出を作り、心から安心して楽しい気持ちでいられる場所。そして、子供・教師・親・祖父母などの日本人会員皆が楽しく心をひとつにして笑顔でいられるところ。ピラール・ド・スール日本語学校はそんな日本語学校です。

ピラール・ド・スール日本語学校はサンパウロ市から150キロ離れた田舎町にあるピラール・ド・スール文化体育協会及び父母会が運営する日本語学校です。2008年にブラジル日本移民百年を迎えたブラジルの日系社会においては、かつてはどの移住地にも存在した形態の日本語学校であり、語学だけでなく日系子弟教育を目的としてきました。

教材 紹介

『Let's Work It Out! Office Japanese For Beginners ビジネスパーソンの初級日常会話』
『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』
『いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室 初級 1』

『Let's Work It Out! Office Japanese For Beginners ビジネスパーソンの初級日常会話』

DC&BC日本語研究会 代表、JALアカデミー日本語教育部 所属 宮崎道子

オフィスでのコミュニケーションは初級から日本語で

日本語に関する知識や日本語運用能力を持たずに、転勤や研修等で来日したビジネスパーソンや、その企業の人事担当者から、「仕事自体は母語（もしくは英語等の媒介語）を使用するので問題ないのだが、職場でのコミュニケーションぐらいいは日本語のできるようにしたい」という声をよく聞きます。また、複数の研修先でOJTを経験するような場合、母語が通じないことも多いようです。

本書はそうしたニーズに応え、初級前半レベルの学習者であっても、職場での円滑なコミュニケーションが可能になることを目標とした会話のテキストです。各課の初めにある会話は、言語コミュニケーションによって相手との良好な人間関係を作り出すヒントとなるような、自然なものを心がけました。同時に、初級前半で必要とされる文法事項が学習できるよう配慮していますので、初級後半、中級へと日本語学習を継続し、将来的には日本語でビジネスができるようになる基礎も築けるようになっています。

■対象

入門～初級前半レベルのビジネスパーソン及び将来日本語でビジネスに携わりたいと考えている方（おもに英語のわかる方）。

■特色

●すぐに話せる！

日本語学習を始めたばかりの学習者でも、学習したことはすぐに実生活で話せるよう、オフィスでのコミュニケーションに必要な最小限の文法項目とそれを使った練習を取り入れています。学習時間の目安は40～50時間です。

●Goalを意識する！

「何ができるようになるのか」を意識することで、学習項目の定着率を高め、コミュニケーションにつなげます。

●楽しく学べる！

会話の主人公は香港から東京に転勤してきた若手社員で、内容は上司や同僚、ガールフレンドとのやり取りからなっています。また、多くのイラストが負担を軽減し、理解を促します。



2 課 Let's talk!

●各課のタイトルとその目標

- 1 おでむかえ ありがとうございます
→ *Introductions/Greetings*
- 2 きれいで、あかるいですね
→ *Describing the state of things*
Asking/Telling about people and places
- 3 いっしょに ひるごはんを たべませんか
→ *Inviting people and accepting being invited*
Asking and explaining where people and things are
- 4 とんカツでいしょく おねがいします
→ *Eating out*
- 5 きょう ラタトゥイユを つくりました
→ *Talking about daily life (1)/Talking about one's wishes*
- 6 プレゼントのように つつんで ください
→ *Giving the sequence of activities/Going shopping*
- 7 スポーツクラブへ いったり、えいがを みたり します
→ *Talking about daily life (2)*
- 8 きょうは おさけを のまないで ください
→ *Having a medical consultation*
Listening to a doctor's advice and asking questions
- 9 パーティーは どうだった？
→ *Chatting informally with work colleagues*
Conveying one's impression
- 10 ふつかよいなんです
→ *Explaining a situation/Giving advice*
- 11 ばりばり はたらけます
→ *Telling what you can and can't do*
- 12 いま なにを して いますか
→ *Telling what you are doing now/Declining indirectly*
- 13 『よるの カフェテラス』が いちばん よかったです
→ *Talking about things you like*

●各課の構成

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. Conversation | 本文会話 |
| 2. Vocabulary | 会話の新出語彙・表現 |
| 3. Exercise | 対話形式の口頭練習（新出語彙・表現付き） |
| 4. Let's talk! | テーマに沿った自由な会話 |
| 5. Notes | 新出文法・表現の説明と例文（英語） |

Let's Work It Out!

Office Japanese For Beginners
ビジネスパーソンの初級日本語会話

B5判 224頁 CD 1 枚付 2,625円

宮崎道子・郷司幸子・栗田奈美・稲垣由子・植松真由美 著



『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』

元東京大学留学生センター教授 市川保子

外国人学習者は日本語を習得する上でさまざまな誤りをおかします。それは学習者の母語と日本語の違いに基づくものであったり、日本語そのものの体系や意味用法によるものであったり、教え方にかかわるものであったりします。そして、私たちはそこから日本語理解へのヒントや、指導のポイントを得ることができます。

本辞典は学習者の貴重な誤用と、誤用から得た貴重なヒントや指導のポイントを、新しい形でまとめたものです。

本書の特徴は次のようです。

1. 誤用例文2720文を170見出し項目に分類した。見出し項目は50音順に配置した。
☆項目例(あ〜こ)：あと(で)、あまり、いちばん、いつも、いま、いわば、受身文、うちに、が[助詞]、が・けれども、かならず、可能文、かもしれない、から①[助詞]、から②[理由節]、きっと、疑問引用節、結局、こと[名詞節]、ことができる、ことだ
2. すべての誤用例文に対し、訂正文および誤用の傾向と要因の解説を加えた。
3. 文法を越えたコミュニケーション上の、また、使い方にかかわる誤用を、「伝達上の誤用」として取り上げ、解説した。

4. 教育に役立つ事柄を、指導ポイントとして、箇条書きにして整理した。
5. 各項目のヘッドには、その項目についての基本的な文法説明、例文、関連項目を載せた。

本辞典の著者たちは、2003年から小さな勉強会(エルの会)を続けてきました。誤用収集が項目、誤用例において広範囲に行われたこと、また、全11人の話し合いで、種々の観点から誤用を論じ、従来のものとは異なる、新しい形の誤用辞典を提供することができたと思います。

「誤用を探る」ということは、学習者の視点に立って、彼らの困難点を共有することでもあります。ぜひお手元に一冊置いて、日々の学習や指導に役立てていただければ幸いです。

日本語誤用辞典

外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント



A5判 800頁 3,360円

市川保子 編著 浅山友貴・荒巻朋子・板井美佐・太田陽子・坂本まり子・杉本るここ・副島昭夫・田代ひとみ・野田景子・本郷智子 著

『いっぽにほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室 初級1』

にほんごの会企業組合 宿谷和子

「生活者としての外国人」が増え続ける中で、地域の日本語教室の役割はますます重要になってきています。その中で、日本語がゼロスタートの学習者をどのように支援するか、これは地域の日本語教室が抱える共通の悩みでしょう。

よく聞かれる悩みとして、次のようなことがよく言われます。

1. 週1回か2回の限られた時間しかない。
2. 学習者はひらがなも読めないので、教科書をどう使っていいかわからない。
3. 品物や絵カードなど準備が大変だ。
4. 文字をどの段階で、どう教えていいかわからない。
5. 支援者はよほどの経験がないと無理ではないか。

この『いっぽにほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室 初級1』は、地域の日本語教室で学ぶ学習者と、支援者のための入門レベルの教科書です。このような悩みをどのように解決できるか試行錯誤しながらいろいろ工夫を重ねて作りました。

各課は、教室で学習する流れを大切に構成してあり、親しみやすいかわいいイラストで文型や語彙、場面状況が理解できるようになっています。文字がまだ読めない学習者のことを考えて、10課まではローマ字のルビがついています。学習者同士または学習者と支援者が、学んだ文型や言葉を使って自分のことを話せるように練習

や活動も工夫しました。本の後半は文字学習のページです。課と並行して文字も楽しく学べるようになっています。

付属のCDには各課の「かわい」に加え、同じ内容を普通体の会話に再構成した「ともだちのかわい」も収録されています。音声以外にも初出語の語彙リストと英・中・韓訳、また印刷して授業で使えるように動詞、形容詞や登場人物のイラストなどが入っています。

日本語の構造をきちんと理解したい、そして1日も早く日本語で話せるようになりたいと願う学習者のために、この本を活用していただければ幸いです。

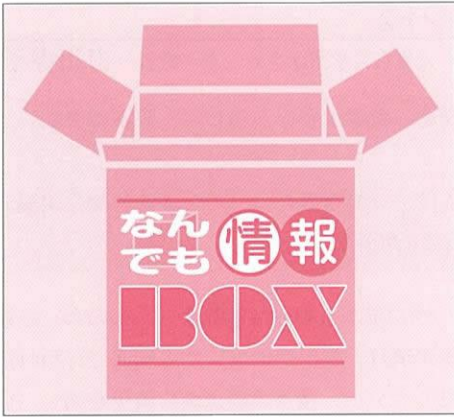
いっぽにほんごさんぽ
暮らしのにほんご教室 初級1

B5判 197頁 CD 1枚付 2,520円

宿谷和子・天坊明 著

【5月発売予定】





SEMINARS

セミナー



スリーエーネットワーク主催◆新刊説明会

●『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級1』

ベテラン日本語支援者はもちろん、初心者でも教えやすい本書の使い方セミナーです。本書の特徴の一つ、スグレモノの付属CDの使い方をご紹介します。ゼロスタートの学習者が、楽しく学習しながら短期間で日本語の基本的な構造を把握できる方法を一緒に考えましょう。

日時： 6月26日(土) 14:00~16:00

会場： 日本教育会館7階707号室
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

講師： 宿谷和子、天坊千明(本書著者)

定員： 100名(先着順)

参加費： 無料

スリーエーネットワーク主催◆日本語教師のための文法講座

●誤用について考えるー『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』発刊にあたって

日本語教師の悩みの一つに、学習者の誤りにぶつかることが挙げられます。私たちネイティブは何をもって誤りと感じるのか。人によって誤りの判断は異なるのか。そして、何をどの程度訂正すればよいのか。誤りを起こさせない方法は?—これらのことを実際の誤用例文を通して、演習を交えながら考えていきたいと思います(原則として両日参加可能の方対象)。

日時： 第1回 7月24日(土) 14:00~16:00
第2回 10月23日(土) 14:00~16:00

会場： アジア学生文化会館
(東京都文京区本駒込2-12-13)

講師： 市川保子(本書編著者)

定員： 40名(先着順)

参加費： 2,000円(各回1,000円、当日会場でお支払ください)

スリーエーネットワーク主催◆日本語教育講座

●中級でなにを教えるか—作文指導を中心に初級を終えた学習者が中級、上級へとすすみ、そのレベルでの日本語能力の問題点を中級以降の授業でどのように補い、どのように涵養していくのかを『留学生

BOOKS

ほん

日本語初級2 大地 基礎問題集	発売中	945円
改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級	発売中	1,575円
日本語でできる!外国人のためのパソコンの基本	5月発行予定	1,575円
とりあえず日本語で一もしも…あなたが外国人と「日本語で話す」としたら	5月発行予定	1,260円
日本語教育叢書「つくる」会話教材を作る	5月発行予定	1,890円
みんなの日本語 中級I 教え方の手引き	6月発行予定	2,625円
日本語初級2 大地 文法解説と翻訳 中国語版	6月発行予定	2,100円
日本語初級2 大地 文法解説と翻訳 韓国語版	6月発行予定	2,100円

すべて税込価格です

のためのここが大切 文章表現のルール』の著者、筒井千絵先生にご講義していただきます。

日時： 8月7日(土) 13:30~16:30

会場： アジア学生文化会館
(東京都文京区本駒込2-12-13)

講師： 筒井千絵(『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』著者)

定員： 40名(先着順)

対象： 現職日本語教師

参加費： 1,500円(当日会場でお支払ください)

備後地区日本語学校、スリーエーネットワーク共催

●中級レベルの指導法—『みんなの日本語 中級I』を利用して(福山会場)

『みんなの日本語 中級I』は、日本語学習の中級前期(初級から中級への橋渡し)の時期に必要な「話す・聞く」「読む・書く」の総合的な言語能力と実践的に自ら学ぼうとする力を培うことを目的としています。今回の研修会では、本書を利用しながら、初級との違いを含めた中級レベルの指導法について、参加者の皆様とともに考えていきます。

日時： 8月28日(土) 13:30~16:00

会場： 福山YMCA国際ビジネス専門学校
(広島県福山市西町2-8-15)

講師： 田中よね(本書執筆協力者)

定員： 100名(先着順)

参加費： 無料

上記4件のお問い合わせ・お申込先

■スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-3292-6193 FAX: 03-3292-6194

e-mail: kouza@3anet.co.jp

101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル

住所・氏名・所属・電話番号・ご希望のセミナーを明記のうえ、電話・FAX・メールのいずれかにてお申し込みください。

凡人社主催・スリーエーネットワーク協力

凡人社サロン研修会・名古屋会場

●中級レベルの論説文(小論文)の指導法—『小論文への12のステップ』を使って

日時： 5月29日(土) 14:00~16:00

会場： ウィンクあいち [WINC AICHI]

愛知県産業労働センター
(愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38)

講師： 友松悦子(本書著者)

定員： 60名(先着順)

参加費： 1,000円(当日会場でお支払ください)

問い合わせ/申込先：

凡人社大阪営業所
TEL: 06-6264-8140; FAX: 06-6264-8152
e-mail: osaka@bonjinsha.com

凡人社麹町店店頭イベント

●『Let's Work It Out! Office Japanese For Beginners ビジネスパーソンの初級日常会話』研修会

日時： 7月10日(土) 14:00~15:30

会場： 凡人社麹町店
(東京都千代田区平河町1-3-13)
TEL: 03-3239-8673

講師： 宮崎道子、郷司幸子、栗田奈美(本書著者)

参加費： 無料(予約不要)

丸善・スリーエーネットワーク共催

2010年日本語教育セミナー②

●『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級1』

日時： 7月3日(土) 13:30~15:30

会場： 戦災復興記念館5階会議室
(宮城県仙台市青葉区大町2-12-1)

講師： 宿谷和子(本書共著者)

定員： 80名(先着順)

参加費： 無料

問い合わせ/申込先：

丸善仙台アエル店洋書フロア 担当佐藤
(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 1階)
TEL: 022-264-0151; FAX: 022-264-0112

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします(国内のみ)。『Ja-Net』第54号は7月25日発行です。